

学校だより



【小プールでワニさん歩きをする1年生】



No. 6
(校長室から)R4. 6. 20

少し前になりますが、6月9日には水泳学習に備えて4年生から6年生のみなさんと、プール掃除を行いました。一年間水をためたままにしていたプールは、壁や床に藻などが生えていて、少しぬるぬるする状態でした。しかし、4年生が小プールを、5年生・6年生は大プールや、更衣室・トイレなどをはりきって磨いてくれたおかげで、すっかり落とすことができました。錆が増えていたプール底の金網も、先生方が磨いて色を塗り直したので、ずいぶんきれいになりました。



水泳学習のスタートは6月14日を予定していましたが、梅雨入りによる日照不足で水温が上がらず延期が続いていました。その後、天気のリcoveryとともに徐々に水温が上がり、17日の2・3年生を皮切りに、ようやく水泳学習を始めることができました。

今日は、県のはつらつサポート事業を受け、鳴門教育大学で水泳の指導法を教えておられる松井先生をお迎えし、4年生が特別授業を受けることができました。今日が今年初めての水泳学習だった4年生に、浮くことや呼吸することの基本を丁寧に教えていただきました。



授業が終わった後、松井先生に歩み寄り、「(50m自由形の)40秒の壁を破るにはどうすればいいですか。」と教を請うた子がいたことを聞きました。目標を持って頑張っている子が、ここにもいることをとてもうれしく思いました。

今朝の朝会でも伝えたのですが、県内の中学校で水泳学習をしている学校は約半数、高校ではわずか2校だそうです。もしかすると小学校での水泳学習が最後の水泳学習になるかもしれません。水に親しむことが増えるこの季節、万が一の事態に自分の命を守れるよう、小学生のうちに水に慣れておくことや、泳ぐ力をつけておくことの大切さを改めて考えさせられました。